

村川市兵衛殿昨十五日
 首尾能御目見へ相
 調被罷帰候付一筆
 令啓候、此表別条無之
 権八郎堅固被罷在候
 我等儀も無恙罷在候間
 可安御心候、先以先日之
 御飛脚海陸無事
 着申候哉、無心元
 存候、然^者来丑ノ年
 竹嶋松嶋へ弥貴様
 御舟御渡被成候筈
 市兵方^与今度申
 談候、左様ニ御意得年
 内より御支度可被成候
 御仕合能帰朝之時分
 可預御左右候、猶々竹嶋より
 桐之木御取寄大坂迄
 御届可被下候、大坂ニて
 相良老岐守殿蔵屋鋪迄
 御届可被成候、彼御留守
 居衆深水仁兵衛殿川原
 又兵衛殿^与申仁兩人御座候
 彼御方へ内々申遣置候
 御断ニ候へ、無相違請
 取可被申と存候、権八方へ
 二本程我等も一本可申
 受候、遠路乍御六借
 資入候、此方^{ニ而}玆敷木ニて
 御座候間御無心申入候
 老岐守殿御屋鋪^者
 今度村川市兵衛御存知ニて
 御座候、尚御参府之時分
 可得御意候、恐惶謹言
 龜山庄左衛門

十一月十六日 □□（花押）

大屋九右衛門様

人々御中

尚々今度も村川と

弥其段申談候、明丑ノ

年ハ貴様両島へ舟御

渡候筈仕候、兼而より

申渡候通少も相違

無之候間左様ニ御心得

可被成候、以上